

令和 7 年度

学校いじめ対策基本方針

大阪市立豊崎中学校

いじめの定義

「いじめ」とは、児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているものをいう、と定義する。

「いじめ防止対策推進法」第2条より

1. いじめの未然防止について

I いじめの未然防止

すべての生徒がいじめに巻き込まれる可能性があるものとして、生徒全体を対象に未然防止の取組を行うことが最も有効な対策になる。

また、未然防止の基本は、すべての生徒が安心・安全に学校生活を送ることができ、規則正しい生活習慣を身につけ、積極的な態度で授業や行事に主体的に参加し活躍できる学校づくりを進めていくことから始まる。これより、いじめに特化したプログラム等が必ずしも必要とは限らず、日頃からの生徒の見守りや信頼関係の構築に努め、生徒が示す小さな変化や危険信号を見逃さないようにする日常の生徒指導こそが未然防止に大きく影響していることを認識しておくことが大切である。

II いじめの未然防止に関する取組

① 年間計画

	第1学年	第2学年	第3学年	全体
1 学 期	<input type="radio"/> 仲間づくり <input type="radio"/> いじめ問題 <input type="radio"/> 情報モラル <input type="radio"/> 平和学習	<input type="radio"/> 仲間づくり <input type="radio"/> いじめ問題 <input type="radio"/> 情報モラル <input type="radio"/> 平和学習	<input type="radio"/> 仲間づくり <input type="radio"/> いじめ問題 <input type="radio"/> 情報モラル <input type="radio"/> 平和学習	<input type="radio"/> 「いじめについて考える日」の取組 <input type="radio"/> いじめアンケート調査 <input type="radio"/> 体育大会の取組 <input type="radio"/> 道徳の授業 <input type="radio"/> 相談窓口、通報窓口の周知 <input type="radio"/> 「心の天気」
2 学 期	<input type="radio"/> 国際理解教育 (在日・渡日) <input type="radio"/> 防災学習 <input type="radio"/> 性教育 <input type="radio"/> 人権作文	<input type="radio"/> 国際理解教育 <input type="radio"/> 防災学習 <input type="radio"/> 性教育 <input type="radio"/> 人権作文	<input type="radio"/> 国際理解教育 <input type="radio"/> 防災学習 <input type="radio"/> 人権作文	<input type="radio"/> 被害調査 <input type="radio"/> いじめアンケート調査 <input type="radio"/> 道徳の授業 <input type="radio"/> 地域防災 <input type="radio"/> 「心の天気」
3 学 期	<input type="radio"/> 震災について <input type="radio"/> まとめ	<input type="radio"/> 震災について <input type="radio"/> まとめ	<input type="radio"/> 震災について <input type="radio"/> まとめ	<input type="radio"/> いじめアンケート調査 <input type="radio"/> 道徳の授業 <input type="radio"/> 「心の天気」

② わかる授業の推進と授業規律の確保

わかる授業づくりのために、指導方法の振り返りや他の教員の授業公開週間の相互授業参観、教材研究等、授業改善に取り組む。また、生徒が学習での自己有用感を高め、少しでも達成感や充実感を持てる「居場所づくり」につなげるために、授業において話し合い活動などの共通実践を実施する。

III いじめ防止委員会（主任会）の実施

① 構成

校長(委員長)、教頭、学年主任、生徒指導主事、教務主任、健康教育部長

*必要に応じて構成員を拡大し、養護教諭、部活動顧問、生活指導支援員、SC、SSW 等を加えることもある。

② 委員会の主な内容

- ・ケース会議（気になる生徒の情報の共有、対策）
- ・未然防止の推進など学校基本方針に基づく取組の実施、進捗状況の確認と検証

③ 委員会の実施時期

- ・基本的には毎週火曜日の主任会で行う。
- ・検証のための会議は、生活指導部会内のスクリーニング会議Ⅰ、学期に1度行うスクリーニング会議Ⅱを利用して行う。

2. いじめの早期発見について

I 早期発見の基本について

- ① 生徒のささいな変化に注意すること
- ② 気づいた情報を共有すること（職員朝礼での連絡と校内共有フォルダ「指導記録」に記録）
- ③ 情報に基づき速やかに対応すること

II いじめの早期発見のための取組

- ① 毎週末、全学級で1週間をふりかえって、「心の天気」を入力する。

- ② いじめ調査アンケート

- ・学期ごとに1回、記名式のアンケートを行う。

- ※ ただし、緊急を要する場合は無記名式の特別なアンケートを行う。

- ※ 欠席状況の把握と欠席がちな生徒との面談・家庭連携等

- ※ SC、SSWとの連携

3. いじめが起きた時の対応

